

# 愛媛F Cサポーターズミーティング 2012

## 議事録

主催：愛媛F Cサポーターズミーティング 2012 実行委員会

(構成員：愛媛ゴール裏 net・愛媛サポート連絡会・EHIME オーレ！)

後援：愛媛新聞社

協力：株式会社愛媛F C・愛媛県立図書館

開催日時：2012年1月21日（土）13：00～16：30

開催場所：松山市総合コミュニティセンター企画展示ホール1階

◎主催者挨拶（実行委員会：大野）

今年も一年間ホームアウェイ関係なく頑張っけて盛り上げたいと思っていますのでよろしくお願いします。愛媛がJ2に加盟して6年、残念ながら成績・集客とも目標を達成できていない。経営や運営などの批判もあるが、経営規模の小さな地方のクラブである事も理解しなくてはならない。Jリーグの要求するハードルが上がってきており、今はサポーターがひとつになってクラブと共に乗り越えなくてはならない。今日のミーティングはサポーターとフロントの話し合いではないので、スタジアム建設や、要望のあった戦術などは議題に挙げない。12番の選手として今日集まった全員で知恵を絞って、スタジアムを盛り上げる案やサポーターを増やす案を話し合いたい。みなさん今日はよろしくお願いします。

◎プロジェクトでのデータ解説と東京での取り組み紹介（実行委員会：和泉）

今期の大きな変更点はプレーオフ制度、クラブライセンス制度と降格制度、スタジアムの改修。アウェイFC東京戦では愛媛県物産展で150万円売り上げた。愛媛FCに元気をもらった冊子も製作した。2009年の予算は5億円。今期は分配金(Jリーグから下りてくるお金)が減ることになるはず。今年のチャンスやピンチに関して、スタジアムや施設面での問題があるが今の私たちにはどうにもできない。プレーオフについては、どんなチームにもチャンスをとということだが、J1のクラブライセンスを持っていないければ昇格はできない。そのためには全体の整備を進めていくことが必要。一番問題になるのがJFLとの入れ替え戦。下から上がるチームがなければ降格戦はない。

サポーターができることはスタジアムに足を運ぶこととシーズンシートを買うこと。経営危機を乗り越えた甲府はJ1昇格の年には年間シートの購入者が約1万人。(愛媛FCの購入者：2011年度500枚)それにはサポーターの大きな力があったのだと思う。集客には動員とスタジアムの雰囲気重要、だが一度は来ても次からも来てくれる人は少ない。次ぎ来なくなるスタジアムを目指そう。そのためにはイベント、物産などホスピタリティが大切。笑顔あふれるスタジアムに。しかしながら今は頭打ちになっているのが現状。バスツアーなども行っているが、人数がなかなか集まらない。

イベントをやっているとほかのスタジアムのサポーターは盛り上がってくれるが、愛媛の反応が薄い。一平くんをアウェイに連れて行くと、みんなが盛り上げてくれるのでやった甲斐がある。

オーレくんを関東愛媛県人会に連れて行った時に反応が薄く寂しい思いをした。やはり喜んでもらったり反応がいいとまたやろうという気になるので周りから盛り上げてほしい。

嘘でもいいから参加して盛り上がって笑顔になって欲しい。負の連鎖を断ち切ることも努力する。そうすれば周りも巻き込める。

◎ニスタ改修について（愛媛FC：小玉事務局長）

今年は国体に向けての改修がある。ゴール裏が10月末まで使えなくなり、ほぼフルシーズン使えない。ゴール裏の完成後はバックスタンドの工事に移る。ゴール裏の方や幕張りには迷惑をかける。開幕戦など動員をかけた場合、席が足りなくなるのでC席で見ているかたは詰めていただけるようご協力をお願いしたい。正式にきまっていないのでスライド通りの話しかできません。

開幕戦の目標7000人。長椅子1つにつき7人ずつ座って欲しい。（長椅子=12人がけ）

アウェイゴール裏も使えないのでバックスタンドの端を使ってもらおう。

なので今までどおりゆったり使うのではなく、詰めてもらうことになる。

今までバックスタンドで応援していた方も、C席でメインスタンドに座れるようにしたので、そこに座ってもらおう。2014からはメインスタンドの改修も行うのでどのようにするかが課題です。

◎展示パネルの説明（松山記念病院：木村様）

精神障害者の方への支援をしている。障害者スポーツの精神の部分では支援が遅れている。

2007年ガンバ大阪中心に精神障害者にフットサルの指導。2008年からはバレーボールも。

愛媛FCも2008年から行うようになり、精神障害者フットサルの普及が進んできている。

今は大会へ向けて頑張っている。来年の東京国体の競技にならないか議論するくらい普及してきている。

国際交流も始めた。海外では障害者リーグもあり大阪のチームは参加した。

愛媛はずっと主催で障害者のためのフットサル活動をしている。大阪での大会にも出場しており、国体に出ることも目標としている。正式種目にできるようがんばっていきたい。

愛媛FCを社会的な資源として考えているが今は弱小な資源である。

皆で頑張って盛り上げていこう！

◎映画クラシコについて（実行委員会：和泉）

北信越リーグの長野と松本のがたり。映画宣伝。

上映期間：2月18～24日（金）シネマルナティック

10分間の休憩。

## 《パネルディスカッション》

### パネラー紹介

- ・BRIGATE ARANCIO : ボブ様
- ・D' Arc (ダルク) : 飯尾雅史様
- ・EHIME オーレ! : 宮本武直様
- ・愛媛新聞社 : 久賀大輔様
- ・FMエヒメ : 関 千里様
- ・Laranja Torcida : 松本 晋司様
- ・実行委員会 : 大野豊
- ・実行委員会 : 和泉逸平 (司会)

### 久賀様

ホームとアウェイで感じる差について、クラブの規模や土地柄などもあるが一番感じるのはサポーターがスタジアムに来る時間の早さ。ほかのチームはかなり早い時間帯からスタジアムに集まる。特にレイソル。イベントもされており、行けば何か楽しそうだと思う雰囲気ができている。アントラーズは東京駅から臨時バスが運行されていて2時間半かかる距離でも土日では混んでいる。鹿嶋は遠いが、スタジアムグルメは充実しており早い時間からサポーターが集まっている。

愛媛はキックオフ直前にきて終了後すぐ帰る印象。神戸は終了後も屋台があつて、サポ同士語り合う。ただ見て、帰るだけではもったいないと思う。愛媛のサポはストイックな印象。全体で楽しむ感覚をもっといいのではないかと感じる。

### 飯尾様

J2の試合では松本山雅のスタジアム以外すべて行ったことある。一番感じるのは開門前の早い時間から人が集まっている事。人が早く集まると、サポーターのやれることも増える。早い時間から人を集めるのは難しいが、ほかのクラブでは出来ている。早く集まることで入り待ちが盛り上がり、ゴール裏も埋まる。今まで遅く来ている人ももっと早くから来てみて欲しい。ストイックではないと思う。(先程の意見に対して)岐阜に遠征した際、地元新聞を読んでもとっさいFC岐阜の試合情報が書かれていなかった。その点愛媛新聞は素晴らしい！トータル的に愛媛のメディアは頑張ってくれている。

宮本様

サポ歴3～4年。愛媛を応援する様になったきっかけは、Jリーグ百年構想を知り浦和で経験した試合や街の雰囲気に感動し忘れられなかったから。その後、自分の町にもチームがあるのだから応援しようと思うようになった。活動自体はパブリックビューイングや婚活ツアー、また県内に愛媛FCのにおいがしないことが気になり、商店街などにポスターを貼ってもらうなどしている。こどものイベントも企画し実行しました。愛媛FCがあることで生活が楽しくなっている。それをどうやってほかの人に伝えていけるか。興味のない人をどうやって引き込むかが問題。それにはまず自分達が楽しむことが重要。それが周りを引き込むポイントになると思う。今年は私たちの感謝を伝えるため、選手に愛媛に来てよかったなどと思ってもらうために、サポーター主導のお祭りを実行したいと思う。

松本様

12年前にサポーターズクラブを結成した。クラブ応援には色んな苦勞があり、メンバーには大変な環境に巻き込んでしまい申し訳ないと思った事もある。しかし愛媛FCという存在は素晴らしいものだと思っており、それは揺らぎない。愛媛を通して感動を共有できることは素晴らしい。会場では試合開始3時間前には集合し、横断幕を設置している。ユースやレディースの応援もしているが日程が重なることもあるため厳しい。ホームゲーム2時間前の入り待ちでの盛り上げ活動なども行っているのでぜひ参加して欲しい。今期は早めに集まるきっかけとして一平くんにも手伝ってもらい盛り上げていきたい。

大野

スタジアムでお世話になっているすべての市町村へごみ拾いなどのお手伝いに行っている。が、2011年はすべての町に行くことはできなかった。本年度はすべての町をまわりたいので協力して欲しい。バスツアーも行うのでそのときは参加して欲しい。今年からレディースが始まるため応援には手分けしていかなくてはならないが、お金も人も足りない。

ダイードリンコ（株）森田様

スローガン「ドリンクが愛媛FCの力に変わる」とダイード自販機について  
スポンサーになったのは2005年。弊社ならではのサポートはできないかということで、自販機を提案した。この自販機から買うと一部が愛媛の資金になる。このオレンジの自販機をいたるところに設置できれば、日ごろから愛媛を町に露出することができる。現在113台設置されている。が、まだまだ。本当に愛媛の力になるだけの台数を置きたい。設置できる場所があればよろしく願います。300以上必要。

メディアから見た愛媛：関様

色んな活動がされておりサポーターのパワーは強い。

前年度・Jリーグ昇格・昇格1年目に大きな力を感じた。また昇格しそうで上がれなかった年は興味がな  
い人まで気になりだした。今は色んな活動があるが、その時ほどの大きな力ではない。

歌のイベントに置き換えるとイベントの三つの柱は、知名度・実力・話題になる。知名度はメディアの露  
出に関係し、実力はチームの実力の事。愛媛FCに必要なものは話題性。

人の力が大事だといったが、一人ひとりがその発信者になれる。皆の力でメディアを動かすこともできる。

活動によりメディアが愛媛FCのファンになる事が多い。なので愛媛FCにはファンを増やす事のポテン  
シャルがあると思う。J 昇格時には、そういったことが多かった。魅力を伝えられるのは皆さん一人ひと  
り。皆さん頑張って頂きたいと思います。

ゴール裏の取り組み：ボブ様

工事があるため応援の場所が変わってくる。普通に考えたらバックスタンドの入場口付近に移るようにな  
ると思う。毎回そこで応援されていた方もいると思うが協力して欲しい。昨シーズンから「この街で」を  
歌っている。メインで応援している人はなかなか歌うのには勇気がいると思うのでフラッグを振って欲し  
い。フラッグを買うことでチームの資金にもなる。

横断幕がかなり劣化してきている。2月中旬に作り直したいと思っている。一人ひとりのものだと思って  
製作費用のキャンパに協力して欲しい。また盛り上げに関して、盛り上げは作れると思っている。盛り上げ  
ればまったく知らない人も参加してくれるようになると思う。

質問・主張

サポーターAさん（男性）

サポーターはコアサポだけがサポーターではないと思う。うちは会社をあげて200人でサポーターをして  
いるが、その中でコアサポは6人くらい。コアサポは隠れてコソコソしないといけないような感じになっ  
ている。近所づきあいのような感じで話すのもサポーターだと思う。来ない人もサポーターである雰囲気  
を作らなくてはいけない。

ヴェルディのサポーターになったことがあったが、チームが遠い印象があつてこれはだめになると思った。近所の人をどうやってサポーターにするか、みんなが幸せになるにはもっと大きなことをしていかななくてはならない。色んな展開をしていって、金や人を集めていかななくてはならない。知恵・価値・人材を駆使して、もっと広い活動にしていってもらいたい。サポート内容を分配し、その道に詳しい人に担当してもらおう方法も有りだと思う。

サポーターTさん (男性)

最初は家族で誘い合いながら見に行っていた。身内から見たサポーターはそっけなく感じるらしい。聞こえないふりをされたり、あしらわれたりしたらしい。アウェイのサポーターのほうが温かみがあった。グループはあると思うが、その中で小さくまとまっているのではないか。スタジアムの雰囲気が徐々に悪くなっていっているように感じる。初めてきた人には声掛けするほうがいいと思う。

松本様

私自身は温かみがあると思う。敷居を高めたりしている意識もない。挨拶して回っているので気軽に話しかけて欲しい。サポートはゴール裏だけでしているものではないので、交流を深めるような雰囲気作りは行っている。敷居が高いと思っている人は是非話しかけて欲しい。冷たいことはない。

大野

ゴール裏ネットは団体に所属する人だけではなく、一緒に頑張ってくれる一般サポを含めてゴール裏ネットだと思っている。

和泉

たしかにその通りかなと思う。知っている同士で声を掛け合うということも必要だと思う。後、Jリーグのサポーターの年齢が一歳ずつ上がっているのが現状。どう思うか？

宮本様

子供をただ参加させるのではなく、子供に企画させる活動をしようと思っている。あと、子供のバス計画もある。安全面や金銭面などの問題もあるがやりたい。

ボランティアスタッフKさん（男性）

メディアの方へのお願い。最初の頃は選手のバックヤードなども放送されていたが、去年はなかった。プライベートがどこまで出せるかはわからないが、そういったことで新しいファン層を開拓することもできると思う。顔だけ見せてイケメンが誰かなどで女性を惹きつける。そのことで男性もくるなど、そういったことをしていただきたい。

サポーター内ではできないような、メディアとチームの関係でできることをやっていただきたい。

関様

その通りだと思う。色んなところに選手を出していくべきだと思う。

何年か前は、試合の合間に選手を取り上げることもあった。確かにそうだ。選手の人柄を紹介できる企画を考えてみたい。

久賀様

ホームの前日に選手をピックアップして小さく取り上げている。どのくらいの規模で、人となり伝えられるようにするかを今後の課題にしたい。

松本様

サッカーに対して興味のない人が増えている。子供たちがサッカーに触れる機会を作りたい。漫画やアニメの力はすごいと思う。サッカーアニメを地上波で放送して欲しい。キャプテン翼でサッカーを好きになった世代もいる。

サポーターTさん（SPAZIO PERSO 所属：男性）

新たにゴール裏で活動したい人を勧誘している。応援に参加したい方は、ゴール裏ネットの者に言って欲しい。また今回、工事が始まるためメインにC席ができる。これを機会にゴール裏で応援したことのない人も参加して欲しい。新規サポを増やすためにどのようなことをしたらいいかの意見をくださいましたら、参考にしたいと思っていますのでよろしくお願いします。

サポーターMさん（BRIGATE ARANCIO 所属：男性）

事務局の方への質問。今までの取り組みで一番集客に効果のあったものは何か？反応がよかったものは？僕らのできる事はないでしょうか？

小玉事務局長

動員の大きな柱がある。Jリーグの動員+各クラブのイベント。昨年の平均が3500人で分析上スタッフが動員している数は1000人。色々なチームに聞くと、岡山はそれほど動員をしていないらしい。ですが平均4300人入る。効果のあった動員としては、子ども会や、スポンサーの従業員の動員、老人クラブ、大学生のバスツアー、など。

久賀様

新潟は招待券を配ることをしたらしい。ただこれはスタジアムを見せることを目的としたためうちには当てはまらないかもしれない。鳥栖は小学生がスタジアムを満員にする活動をし、それがメディアや行政を巻き込んで大きなムーブメントを作ったらしい。

関様

ずっと中高生を応援する番組をしている。聞いたところ、行けない人は部活などもあるが、大部分が言うにはお金がないということだった。いっそ将来的なサポーターを育てるため、学生はタダにしても良いのではないか。それから福田選手をバスに乗せツアーを行ったのは良い企画だと思った。女性に対するイベントで女子会のようなものを開催するのも良いのではないかと思う。また女性だけのサポーターチームを作っても面白いと思う。

社会人二年目 I さん (男性)

マッチスポンサーの動員の時はうちの会社も動員がかかるが、その時以外は全く来ない人が多く、普段は会社から2、3人しか来ない。私は学生時代、学生ツアーに参加した事があるが夏休みということもありあまり集まらなかった。当時ビラ配りの際、大学生以外にサポーターも手伝ってくれるとのことだったが、連絡不十分で満足な対応がとれなかった。企画を行う際は連絡を密にとっていただきたい。去年の学生ツアーには80人も集まった。愛大は県外から来た人も多く、愛媛への愛着という点では難しいと思うがやってほしい。また、一番ネックになるのはスタジアムまでの足だと思う。大学生を取り込むためにサポーターも協力してやって欲しい。

大学生 F さん (男性) : 本日の書記係り

放送研究会に所属しており、そこから愛媛の発信もしていきたいと思っている。ご協力お願いします。

大野

キッズエリアを作りたいと思っている。子供の世代から愛媛に親しみ、サポーターを育てるのもサポーターの役目だと思う。よければご協力お願いします。

サポーターMさん（女性）

企画していることがある。それは若年層をどうやって連れてくるかということだが、サッカーを見ることだけでなく、それ以外も楽しいことがあるのがJリーグのいい事だと思う。応援を楽しんでもらうのもいいと思う。さらに、大学の教育学部の学生に参加してもらって、愛媛を通して自分の夢をかなえることもしてもらいたい。鳥栖の小学生の企画を見て、私の子供たちもやりたいと言ってきた。子供たちにもやりたいという気持ちがある。そのためにはスクールの子やサポーター、コーチが一体になりたい。また、夢バスという企画がある。スポンサー問題が解決すれば実現すると思っている。サッカーを見るだけの場にするのではなく、皆が夢をかなえる場所にしたい。

サポーターAさん（男性）

良い場所がある。スポンサー席がいつもガラガラなのであの場所を提供して欲しい。これが可能かクラブからもいってほしい。

大野

前からガラガラで気になっていた。選手が入場後に整列し一礼してガラガラなのは寂しい。ただここでは結論が出ないと思う。

サポーターKさん（男性）

子供が大人しく座っている事はまず無いと思う。走り回ったりすると思う。スポンサー席に落ち着かせておくのは子供にとっても窮屈で現実味がないと思う。

サポーターTさん（D'Arc 所属：男性）

負ける事も多い。その中でホスピタリティが大事だと思う。私は今スネアドラムを叩いているが、天皇杯で京都を見ていたところ女性が叩いていた。私が叩いているのはドラムが上手いからではなく、する人がいないから。本当は子供を扱ったりしたい。へたくそだと思ったら言って欲しい。また、楽しい企画もやっていきたいと思っているが私にはやりつくした感がある。私たちの活動に参加していただける方がいま

したら募集していますのでよろしくお願ひします。

飯尾様

ゴール裏は常に人材や若い人を求めている。私が前に座っているのは別に特別なわけではなく、誰もやらないなら私が、という考えから。ホスピタリティーといわれているが、チャント表を貰いにくるのを待つのではなく、これからは配ることをしていこうと思う。それにより、人に声をかけることもできる。是非皆さんには配る側の人間になって欲しい。

ボブ様

意見を言われていない方でも何か好きなのところがあって今日ここに来て頂いているので、みなさんと成長していけたらいいのではないかと思います。

宮本様

ヤジに関して、ゴール裏の考えはどういうものか。して良いのかしてはいけないのかはっきりした方が良いのでは？

飯尾様

子供の憧れになりたいと思っている。ヤジに関して、何か起きたその瞬間はありかなと思う。川崎は自分の選手に対してはブーイングをしないという方針をしている。皆さんはどう思いますか？

・拍手少数

やはり少数だと思うが、少数の意見を切り捨てるつもりはない。ですが元愛媛の選手との対戦の場合その選手に対してどういう対応をするかは考えたほうがいい。

松本様

前から考えていた。受け狙いのようなヤジは飛ばさないほうがいい。自分の怒りみたいなものは応援のコールにしていったらいいと思う。

大野

今年は日曜日開催になるため、アウェイに行きにくくなる。そのため、アウェイ応援バスツアーの開催数を全試合実施するくらいのつもりで増やそうと思う。累計5試合の参加で次のアウェイツアーへ無料招待

したり、プレゼントを用意して企画する。会員登録用紙を用意しているので皆さんぜひ参加して欲しい。

ニスタはごみが多いので協力して欲しい。

ニスタへの坂道が少し殺風景。スタジアムが近づくにつれワクワクする様な街路樹ディスプレイを試みたいので協力して欲しい。

またこんな機会が設けられるようにしていきたい。皆で愛媛を強くしよう！

最後に 事務局川井様

今年は素晴らしい選手も入ってきている。

このような会が開催されて、やはり一人ひとりの顔が見える機会があることは大事だと思った。一ヶ月に一回位このような会を開いてアクションを起こしていけることが大事。活動をしてもらってそれが見えてこない現状がある。またみなさんと話し合っ、みんなでいい方向に向かっていただけたらと思います。

今年も1年間よろしくお願いします。

以上